

アウトカム	KPI	指標	確認方法 モニタリング方法	設問	更新頻度	(参考：現状値)
初期	①	コミュニケーションの頻度（他者とのコミュニケーションが全くない人の割合）	市民意識調査	9	5年ごと	2.7%
	②	外出の頻度（外出頻度が週1日程度以下の人の割合） 外出の目的（最近1週間の外出の目的で、「人との付き合い・交流」を選んだ人の割合）	市民意識調査	14-1 14-2	5年ごと	4.5% 28.9%
	③	あいち電子申請・届け出システムによる相談件数	共生社会課	—	毎月	未整備
	④	重層支援センター・自立生活相談センターへの相談のうち外国人相談割合	重層支援センター等実績	—	毎月	
	⑤	周りに不安や悩みを抱えている人がいたら積極的に声掛けや手助けをしようとしている人の割合	市民意識調査	18-1	5年ごと	51.8%
	⑥	不安や悩みを抱えている人に対してどのように接したらいいかわかる・役に立てると思える人の割合	市民意識調査	18-2	5年ごと	21.1%（自分には役に立てることがない） 45.4%（自分が何をすればよいかわからない） 32.4%（どのように接したらよいかわからない）
	⑦	重層支援センター等への相談のうち友人・知人・隣人からの相談件数	重層支援センター実績	—	毎月	
	⑧	重層支援センター・自立生活相談センターにおける継続支援世帯数	重層支援センター等実績	—	毎月	
	⑨	地域づくりコーディネーター・生活支援コーディネーター活動記録	共生社会課で活動記録を確認	—	毎月	(定性評価)
	⑩	対象世帯に関する相談や情報提供が住民・地域から寄せられたケース数	重層支援センター等の相談実績	—	毎月	
	⑪	「地域で孤立しがちな人々への見守り・支援」「支援が必要な人を発見したり、地域で支えること」について「とても気になる」「どちらかといえば気になる」と感じている人の割合	市民意識調査	27	5年ごと	42.9%（地域で孤立しがちな人々への見守り・支援） 49.4%（支援が必要な人を発見したり、地域で支えること）
	⑫	複数人で集まって行う活動への参加率（趣味や娯楽、スポーツなどの活動のうち、複数人で集まって行う活動（趣味サークルなど）に参加している人の割合）	市民意識調査	23	5年ごと	28.1%
	⑬	カラット利用状況（カラットサポーター数、共催イベント数、アクティブプラン件数）	カラット利用実績	—	毎月	
中期	①	困ったときに頼れる人の有無（困った時に頼れる人がいる人の割合）	市民意識調査	15-1	5年ごと	93.7%
	②	相談相手の有無（不安や悩みを相談できる人がいる人の割合）	市民意識調査	16-1	5年ごと	92.1%
	③	相談先の数（不安や悩みを相談できる人がいる人のうち、相談先を複数持っている人の割合）	市民意識調査	16-2	5年ごと	68.7%
	④	相談することの価値の実感（相談しても無駄であると感じている人の割合）	市民意識調査	17	5年ごと	13.5%
	⑤	重層支援センター等への相談のうち早期相談割合（相談に来るまでの期間）	重層支援センター実績	—	毎月	
	⑥	コミュニティ・サークルに参加したきっかけが、「友人・知人の誘い」である人の割合	市民意識調査	24	5年ごと	65.1%
	⑦	重層支援センター単独で伴走支援している件数 参加支援件数（居場所支援、就労準備支援等）	重層支援センター実績	—	毎月	
	⑧	「地域で優先的に取り組むべきだと思うこと」を尋ねる設問で「地域で孤立しがちな人々への見守り・支援」「支援が必要な人を発見したり、地域で支えること」を選ぶ人の割合	市民意識調査	28	5年ごと	10.1%（地域で孤立しがちな人々への見守り・支援） 8.6%（支援が必要な人を発見したり、地域で支えること）
	⑨	「地域で孤立しがちな人々への見守り・支援」「支援が必要な人を発見したり、地域で支えること」に取り組んだ経験や取り組むことについて「とても気になる」または「どちらかといえば気になる」と回答した人の割合	市民意識調査	29	5年ごと	26.2%（地域で孤立しがちな人々への見守り・支援） 28.7%（支援が必要な人を発見したり、地域で支えること）
	⑩	カラット利用状況（リピート利用団体数、月2回以上利用している団体数）	カラット利用実績	—	毎月	
最終	①	主観的な孤独の状況（間接質問：3つの間接質問の回答をスコア化した結果が10～12点（常にある）であった人）	市民意識調査	10・11・12	5年ごと	4.0%
	②	主観的な孤独の状況（直接質問）	市民意識調査	13	5年ごと	今回聞いていない
	③	相談のハードルが下がる（不安や悩みを相談することを肯定的にとらえている人の割合）	市民意識調査	17	5年ごと	86.3%（「相談することで解決できる、または解決の手がかりが得られる」と考える人）91.4%（「相談することで解決しなくとも気持ちが楽になる」と考える人）
	④	抱えきれないくらいの不安や悩みがある人で家族・友人・行政機関・NPO等に相談できていない人の割合	市民意識調査	19・20・21	5年ごと	31.1%